

令和6年度山口県教科用図書採択地区協議会選定理由①

国語	光村図書	・語彙力や言語感覚、情報活用能力や倫理的思考力を育むとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた内容構成である。 ・「学びの扉」の中の「振り返る」で自己評価し、学びを言語化することで資質・能力の育成を図ることができる。 ・自分の思考や感情を的確に言語化する「語彙ブック」が設けられている。
書写	東京書籍	・小学校からの学びの継続性、書写の系統性の観点から、基本的な知識・技能が身に付く教材が多く選定されている。 ・運筆動画などのデジタルコンテンツが活用できる。 ・右利きでも左利きでも教材文字が見やすく工夫されている。
社会 (地理)	帝国書院	・地理的な見方・考え方を促す豊富な資料が掲載されている。 ・生徒同士の意見交換を促すコラム「声」が設けられ、キャリア教育につながる。 ・冒頭に「問い」、末尾に「課題」が示され、学習活動に見通しがもてる配慮がされている。
社会 (歴史)	育鵬社	・問題解決型の学習の中で、歴史学習における思考力・判断力・表現力等を育むコーナーが設けられ、資料活用能力の育成と定着がめざされている。 ・時代の流れを俯瞰し、様々な角度から複眼的に、時代の特色を理解できるように工夫されている。 ・学習したことを基に、自分の言葉で時代の特色を表現し、振り返るための学習課題が設定されている。
社会 (公民)	東京書籍	・地理的分野や歴史的分野の学習内容との関連を図り、3分野の学習を通して、社会科の学習の目標を達成できるよう工夫されている。 ・各単元の導入部に、既習事項を振り返る二次元コードが掲載されている。 ・持続可能な社会について構想し、自分にできることをまとめるページが設けられている。
地図	帝国書院	・小学校で身に付けた技能を発展させるページが設定や二次元コードで「小学校の振り返り」が収録され、系統性が図られている。 ・自然災害や防災のページが設けられ、対策について理解する工夫がされている。 ・思考・判断を深め、資料活用能力を高められるようなデジタルコンテンツが収録されている。
数学	啓林館	・基礎・基本の確実な定着を図るため、スモールステップの展開や式の変形を丁寧に示す工夫がされている。 ・章末問題では、理解が不十分な場合には、どこに戻ればよいかを明記するなど、技能の定着が図れるように工夫されている。 ・補充問題と章末問題は解答もデジタルコンテンツで参照し、自主学習で活用できるようになっている。
理科	啓林館	・「探究する力を育てる教科書」を方針とし、デジタルコンテンツを強化して編集されている。 ・目的意識をもって観察実験を行うために、冒頭に「目的」が明記され、生徒の思考を促す工夫がされている。 ・科学的に探究するために必要な資質・能力を育てられるよう、「課題の把握→追究→解決」を繰り返し行う工夫がされている。